

第 5 回 市民福祉常任委員会 概要報告

年 月 日	令和4年5月26日	会場	第1委員会室	案件	所管事項の調査
出席委員	高野美枝子、東川孝義、東千春、川村幸栄、倉澤宏、五十嵐千絵				
委員外議員					
欠席委員					

審査及び報告事項

◎所管部（市民部、健康福祉部、市立総合病院）の報告及び当面の課題説明を受け質疑を行った。

【市民部】

1. 令和3年度国民健康保険特別会計決算見込みについて

- ・歳入は補正後予算額とほぼ同額であった。歳出は補正後予算額に対して、保健給付費及び保健事業費の減額により▲20,744千円減額となった。
- ・形式収支（歳入－歳出）20,671千円は、令和4年度へ繰越
- ・国保基金の令和3年度の取崩はなかったが、令和4年末では残額がなく、今後の運営については、運営協議会との協議を行っていく。

2. 住民税非課税世帯等の臨時特別給付金の支給状況等について

(1) 制度について

- ・対象世帯は、令和3年12月10日に住民登録があり、令和3年度住民税均等割が非課税の世帯の他、転入者や若年層には「申請書」の提出による確認後に支給。
- ・別途、感染症の影響で非課税世帯相当となった世帯への支給もあり。
- ・給付金額 10万円
- ・提出期限 ①確認書：4/28まで（受付終了） ②申請書：家計急変 9/30まで

(2) 4月末までの支給実績

- ・確認書による支給率 97.2%（3,197件/3,289件）

(3) 今後について

- ・現行の給付金は、家計急変世帯など「申請書」による提出につき9月末まで受付を継続。
- ・6月から開始予定の給付金（原油価格・物価高騰等総合緊急対策の関連）、提出期限9月末。

3. 令和3年度市税等収納状況

- ・4月末の令和3年度市税等の収納は、99.67%（前年比0.08%）、国民健康保険税、後期高齢介護保険料、保育料、道民税は、99.58%（前年比同率）となっている。
- ・滞納繰越分の収入率は、ほぼ予算額通りとなっている。

4. コンビニ・スマホ（決済）収納利用実績

- ・コンビニ・スマホ決済の現年収納分は14,696件で、全体の14.7%である。

【質疑】

Q：コンビニ・スマホ決済による本人の負担はないと思うが、手数料は。

A：手数料は1件につき67円（税込）で、予算化している。

5. 名寄市合同墓について

- ・令和3年度納骨は件数で58件、骨数で119体であった。令和4年4月現在で13件（31体）の申込みがある。お寺の納骨堂及び墓じまい等で合同墓のニーズが高い。

6. 高齢者等ごみ出し支援事業について

- ・令和2年10月から実施しているが、名寄地区25件、風連地区7件で合計32件となっている。

7. 公共施設照明LED化事業について

- ・令和3年度は12施設のLED化を行った。年間約650万円の節約になる。
- ・令和4年度は11施設を計画しており、6月議会に提案予定。

8. その他

- ・名寄地区衛生施設事務組合で計画している、旧焼却施設解体工事概要の説明を受けた。

【質疑】

Q：旧焼却施設解体工事に伴い、古紙搬入場所の表示がわかりづらい。

A：名寄地区衛生施設事務組合にも問い合わせがあり、表示方法等の見直し検討を行う。

【健康福祉部】

1. 令和3年度及び令和4年度健康福祉部関連事業概要について

【社会福祉課】

① 生活保護業務実施方針

保護の相談に関しては、面接相談員を配置し生活保護に係る相談から他法他施策の助言まで幅広く対応し、保護開始後は、被保護者の生活状況等を踏まえ、適切な援助方針を作成し、被保護世帯の自立に向けた助言・指導を行う。

- ・令和元年度～令和3年度までの、扶助別被保護人員の推移、相談・申請の状況、保護の動向の報告を受けた。

【質疑】

Q：相談件数と申請件数が約半分になっている理由は。

A：他法優先で生活保護を行っており、相談内容により申請件数が少なくなっている。

② 名寄市成年後見センターについて

- ・名寄市障がい者福祉計画の基本目標である権利擁護の推進に向け、日常生活上の判断能力が十分でない方に対する金銭管理や各種のサービス利用援助などを本人に代わっておこなう「成年後見制度」を利用し易くするため、名寄市成年後見センター事業を名寄市社会福祉協議会へ業務委託し、平成30年1月1日より実施している。

- ・令和3年度実績：新規相談件数17件。申立支援件数14件。法人後見受任件数9件。

③ 令和3年名寄市戦没者追悼事業について

- ・毎年7月10日に実施している戦没者追悼事業は、令和4年度は7月6日に実施予定。
- ・新型コロナウイルス感染拡大状況を踏まえ、追悼事業は規模を縮小し、平和音楽大行進は中止。

【基幹相談支援センター】

- ・地域における相談支援の拠点として、障がいに関する総合的・専門的な相談支援のほか、地域の相談支援事業者間の調整や関係機関との連携の支援、近隣町村への支援を行っている。

- ・令和3年度実績：相談件数292件

【こども未来課】

① 第2期名寄市子ども・子育て支援事業計画（令和2年度～令和6年度）

- ・保育施設の充実：令和5年度中の認定こども園のオープンに向けて、本年度は駐車場の整備、隣接する公園の改修工事及び本体工事に着手。東保育所のエアコン未設置の保育室にエアコンを設置。

- ・へき地保育所の維持：本年度は、智恵文保育所の保育室にエアコン設置。
- ・子育て支援センターの充実：ひまわりらんど2階ホールにエアコン設置。
- ・こどもの遊び場確保：昨年12月にオープンしたこどもの遊び場「にこにこらんど」に、立体的遊具設置予定。

【質疑】

Q：利用頻度の低い遊具の取り扱いは。

A：開設して6ヶ月なので、実態を確認し利用頻度の低い遊具は、今後検討していく。

② 低所得者の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金

- ・児童扶養手当を受ける世帯（ひとり親世帯）と住民税非課税世帯（ひとり親世帯を除く）に児童1人当たり一律5万円の給付を実施すると、4月28日付で通知があり、国と調整を図りながら、速やかな支給に向けた準備を進める。

③ 保育所・幼稚園の入所について

- ・市内各保育所・幼稚園の、令和元年度以降の児童数の実績推移と、児童数の減少により一部施設定員減の報告を受けた。

【高齢者支援課】

① 高齢化率は、令和2年3月末 32.74%、令和3年3月末 33.19%、令和4年3月末 33.39%。

② 後期高齢化率は、令和2年3月末 17.65%、令和3年3月末 17.94%、令和4年3月末 18.55%と、いずれも上昇しており、2025年の団塊世代には、まだ高くなる。

③ 介護保険事業状況について

- ・要介護（要支援）認定者数、居宅介護（介護予防）サービス受給者数、地域密着型（介護予防）サービス受給者数、施設サービス受給者数共に、昨年とほぼ同数である。

④ チャレンジデー2022の実施について

- ・5月25日に秋田県男鹿市と対戦したが、敗れ、対戦成績は13勝15敗となった。

⑤ 介護人材就労定着支援事業について

- ・現在推進している、各種助成・研修事業の説明を受けた。

⑥ 要介護高齢者紙おむつ用ごみ袋支給事業について

- ・要介護3・4・5の認定を持ち、在宅で生活されている高齢者等に対し、紙おむつ処理用のごみ袋を今まで通り支給する。年間で最大120枚支給。

⑦ 除雪サービス等助成事業について

- ・高齢者世帯等を対象に除雪助成券交付や屋根雪下ろし助成券交付の支援を継続する。

【地域包括支援センター】

① 介護予防講演会及び高齢者食生活改善事業

- ・フレイル予防を目的に市民向け講演会と講座・介護予防教室を開催する。

② 医療介護連携情報共有ICT事業

- ・令和2年度に構築をしたICTを活用した医療と介護の情報については、今後もシステムの有効的な活用や運用方法システムの普及啓発等効率的な取り組みを行う。R4.4末で登録者数1,003人

【保健センター】

① 新型コロナワクチン接種について

- ・新型コロナワクチン3回目接種は、5月15日現在17,316人（73.8%）である。
- ・4回目接種については国の方針に基づき、3回目接種の完了から5か月以上経過した60歳以上の方及び18歳以上59歳以下の方のうち、基礎疾患を有する方へ随時知らせる。

② 新型コロナウイルス感染対策を行いながらの各種保健事業について

- ・各種検診等は時間を区切っての呼び出し、消毒・換気の感染対策を講じながら実施する。

【社会福祉事業団】

① 各施設入所者について

- ・名寄市特別養護老人ホーム清峰園は、定員 100 名に対し、3 月末は 96 名
- ・名寄市風連特別養護老人ホームしらかばハイツは、定員 80 名に対し、3 月末は 50 名。
- ・軽費老人ホーム（ケアハウス）は、定員 50 名に対し、3 月末は 50 名である。

② 介護職員採用について（特別養護老人ホーム）

- ・職員確保で高校生への職場説明は 2 回実施。大学生の就職相談会は新型コロナウイルス感染症対策により中止。
- ・職員スキルアップの取り組みは、DVD 講習等で実施した。
- ・特別養護老人ホーム介護常勤職員の職員数は、令和 3 年度入職 2 名、退職 9 名、4 年度正職員 1 名、準職員 4 名採用した。

2. 令和 4 年第 2 回定例会提出予定の議案について

- ・主な補正予算の報告を受けた。

【市立総合病院】

1. 令和 4 年度市立総合病院業務体制について

- (1) 常勤医の状況は、診療科により増減はあるも 1 名増の 64 名体制。
- (2) 研修医一年次・二年次を含めて 5 名で、医師総数は 5 月 1 日現在 69 名である。
- (3) 看護職員の 4 月採用は 21 名（新採用 19 名、再任用 2 名）である。
- (4) 医療技術等職員の採用は 7 名。5 月 1 日現在全体で 789 名である。

2. 令和 3 年度、患者満足度調査結果報告書について

- ① 患者満足度調査は、提供している医療サービス・接遇・対応及び施設・設備等について、患者の意見を集め、質の高い医療を提供する事が目的で、定期的の実施している。
- ② 外来患者は 3,097 人のうち、調査票を配布できたのは 537 人で、回収率は 100%であった。
 - ・駐車場の利用は、昨年よりは短い時間で駐車出来ているが、満足度はけっして高くない。
 - ・会計待ち時間は、前年度より 1 分程度短縮されており、自動精算機導入の効果である。
- ③ 入院患者は、472 人のうち 243 人に配布し配布率は 51.5%、回収率は 60.1%であった。
 - ・入院回数は初めてが増加し、看護職員の対応も良い評価、食の満足度は若干下がっている。

3. 名寄市立総合病院「手術室増改修事業」の概要について

① 改修の必要性

- ・平成 4 年の本館完成以来、抜本的な改修は行われてなく最新の機材を多用した手術に対応できていない。救命救急医療センター有する当院の役割として、都市部の医療機関に比肩する機能を期待されている。今後も地域の住民要望に応えていくため、手術室機能の充実・再整備を行う。

② 事業内容

- ・増築：1 階：当直室、更衣室、休憩室、面談室、シャワー室等
2 階：ハイブリット手術室、B C R、クリーンルーム、操作室等
3 階：空調機械室（屋上に非常用発電機、室外機）
- ・改修 1 階：倉庫
2 階：手術室（空調設備、壁、床、照明）器材庫、更衣室、患者説明室、会議室等
- ・面積 増築面積：627.29 m²。 改修面積：890 m²。

・予算及び財源

(設計委託費：26,609 千円)

予算額：1,626,000 千円

道補助金：地域医療介護総合確保基金（医療分）

病床機能分化・連携促進基盤整備事業：補助率（1/2）

地方債：過疎債、病院事業債（特別分）

なお、増築・改修工事概要について図面を用いて説明を受ける

4.その他

・コロナウイルス院内感染の状況についての報告を受けた。13 日間で終息をした。

・発熱外来は、今週に入り落ち着いている。

委員会を休憩し、常任委員会のテーマである「健康寿命の延伸について」及び視察の進め方の確認を行った。

以上

報告者 市民福祉常任委員会 副委員長 東川 孝義